

7. 接着剤の耐久力試験

大内成司**北嶋俊朗**

1. 目的

各種接着剤（主に木材用）の常態における接着力の経年変化を測定することにより、接着剤の耐久性を試験し、性能評価や20年間にわたるデータの蓄積を行う。

2. 試験方法

1992年7月に実施した圧縮せん断接着強さ試験の結果を基にして、1, 3, 5, 10, 15, 20年後に行う試験結果との比較検討を行う。

試験は、JIS K 6852に準拠して行うものとするが、長期の試験であるため以下の2点で異なる。

- ①試験片の紛失を防ぐため、一つの接着試験体から図-1の形状・寸法の物を試験直前に10個切り、試験を行う。
- ②20年間JISの定める環境に試験片をおくことは不可能なため、試験片は当試験所開放試験室の一角に放置し、気象台発表の気温・湿度を利用する。

3. 試験する接着剤 9種類

酢酸ビニル樹脂系エマルジョン形接着剤
(CH14：コニシ(株))

水性高分子イソシアネート系接着剤
(127、148：大鹿振興(株))

エポキシ樹脂系接着剤

(アラルダイト106：昭和高分子; CIBA-GEIGY)

ユリア樹脂系接着剤

レゾルシノール樹脂系接着剤
(D-33：大鹿振興(株))

アクリル樹脂系接着剤

(ハードロック：電気化学工業(株))

フェノール樹脂系接着剤

(D-22：大鹿振興(株))

ウレタン樹脂系接着剤

(7057：大鹿振興(株))

変性酢ビ酸硬化形接着剤

(900：大鹿振興(株))

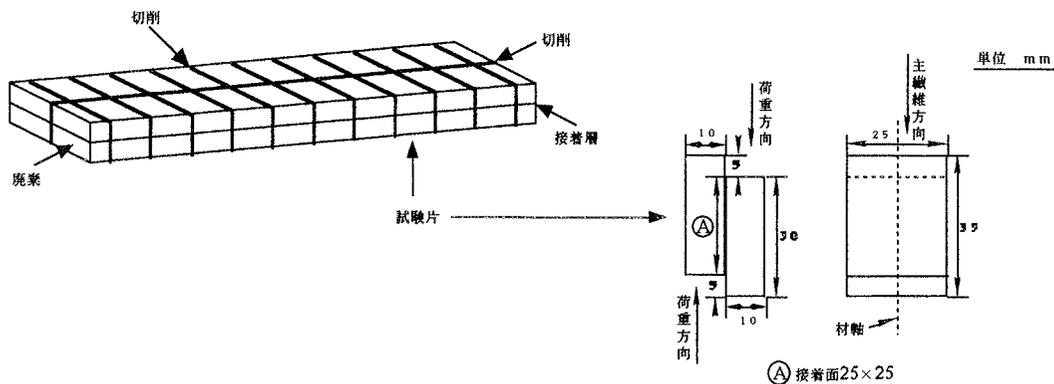


図-1